

## まるで宝石の塔！！ 「エキウム・カンディカンス」と「エキウム・シンプレックス」 が見頃です

京都府立植物園の会館前で、宝石の塔と呼ばれる「エキウム・カンディカンス」と「エキウム・シンプレックス」が見頃になりました。

株全体に小さな毛が密に生えるため、葉は銀葉となり、無数に咲く花とのコントラストが美しく、まさに「宝石の塔」を連想させる外観となります。暑さにも寒さにも弱いため、夏と冬は戸外で栽培すると枯死することがほとんどです。開花させるにはガラス温室内の温度管理が必要で、国内で観賞できる機会は限られます。

開花株は高さ 2m ほどに成長し、一株でおよそ 2 万個の花を咲かせます。見頃は 4 月下旬まで続きます。

### エキウム・カンディカンス

科 名：ムラサキ科  
学 名：*Echium candicans*  
生育タイプ：分枝性木本  
産 地：マデイラ諸島

ポルトガル領マデイラ諸島を代表する植物であり、その草姿や花の美しさから英名では「Pride of Madeira(マデイラの誇り)」とも呼ばれている。

また、花にはたくさんのセイヨウミツバチが集まることから、養蜂における蜜源植物としての期待も高まっている。



### エキウム・シンプレックス

科 名：ムラサキ科  
学 名：*Echium simplex*  
生育タイプ：単幹性二年草  
産 地：カナリア諸島テネリフェ島

スペイン領カナリア諸島テネリフェ島を代表する植物であり、その草姿や花の美しさから英名では「Pride of Tenerife(テネリフェの誇り)」とも呼ばれている。

1 株におよそ 2 万個の花が咲く。

